

令和5年度 明石市連合まちづくり協議会総会 議事録

日 時／令和5年（2023年）6月28日（水） 午後2時～

場 所／勤労福祉会館 多目的ホール

出席者／明石市連合まちづくり協議会理事28名

明石市コミュニティ・生涯学習課6名、明石コミュニティ創造協会2名

議 題／議案第1号 令和4年度事業報告

議案第2号 令和4年度会計決算報告

令和4年度会計監査報告

議案第3号 令和5年度役員（案）

議案第4号 令和5年度事業計画（案）

議案第5号 令和5年度会計予算（案）

議事の経過および結果

1. 開会のことば

- ・司会の大野総務より、開会を宣言。

2. 会長あいさつ

- ・藤本会長よりあいさつ。

3. 議長選出

- ・司会一任で、大久保南校区の戸田理事を議長に選出。
- ・議長一任で、錦浦校区の小林理事を議事録署名人に選出。

4. 報告事項

※議案第1号・2号は関連議事のため、一括審議

■ 議案第1号 令和4年度事業報告

松尾副会長より報告

■ 議案第2号 令和4年度会計決算報告

藤本会長より報告

■ 議案第2号 令和4年度会計監査報告

田中監事より報告

- ・異議なく、賛成多数の挙手をもって承認された。

5. 議事事項

■ 議案第3号 令和5年度役員（案）

安藤役員選考委員長より提案

- ・異議なく、賛成多数の挙手をもって承認された。
- ・議長より、議案第3号の（案）の文字の削除を依頼。
- ・吉川会長より藤本前会長へ感謝状を贈呈。
- ・吉川会長より令和5年度役員を代表しあいさつ。

※議案第4号・5号は関連議事のため、一括審議

■ 議案第4号 令和5年事業計画（案）

吉川会長より提案

■ 議案第5号 令和5年会計予算（案）

金井会計より提案

【意見】

令和5年度 会計予算（案）の支出の部で繰越金473,577円とあるが、予備費として473,577円と計上し、繰越金は0円と表記したらどうか（明石・富田理事）

【回答】

予備費の項目を追加。予備費として473,577円と記載して、繰越金は0円と記載する事で議案書の修正をお願いします。

- ・その他異議なく、賛成多数の挙手をもって承認された。
- ・議長より、議案第4・5号の（案）の文字の削除を依頼。

6. その他

【意見】

令和5年度の敬老会補助金の対象が昨年までと異なり、記念品にかかる費用が対象外となった。自治会によっては、敬老会の開催はできないが記念品の配布ならできる自治会もあることから、令和6年度は再度記念品にかかる費用を対象とするように、市連合まちづくり協議会で検討してもらいたい。（山手・山南理事）

【意見】

記念品にかかる費用が対象外になった事に関しては、コロナ前に戻っただけだと感じている。敬老会を開催している側が、高齢化し敬老会対象者になっているので、敬老会の在り方自体を検討した方が良いと思う。（花園・池内理事）

【回答】

敬老会補助金の担当課は高齢者総合支援室であるが、コミュニティ・生涯学習課として把握している経緯を簡単に説明する。

10年程前は、敬老会開催にかかる費用として10万円、及び記念品にかかる費用として500円×対象者人数分を補助していた。しかし実際には、敬老会出席者は2割程度しかおらず、不参加者の記念品は自治会や民生児童委員が各対象者の自宅に配布をし、時間的にも労力的にも非常に負担になっていた。

その経緯を受けて見直しを行い、補助対象は、敬老会開催にかかる費用（上限30万円）とすることに変更した。

その後、令和2～4年度までは、コロナ禍で対象者が敬老会に集まる事が難しくなり、記念品にかかる費用を対象とした。

令和5年度からは、コロナウィルスが第5類に引き下げられたため、補助対象もコロナ前の、敬老会開催にかかる費用（上限30万円）とし、記念品にかかる費用は対象外とした。

敬老会開催にあたっては、まち協や自治会には大変ご協力いただいております、感想や意見も様々ある。実際にいただいた意見は担当課へ伝える。

(事務局・コミュニティ生涯学習課)

7. 議長解任

- ・議事がすべて終了し、議長解任・降壇。

8. 閉会のことば

- ・田中副会長よりあいさつ。
- ・司会の小村総務より閉会を宣言。

以上の議決を明確にするために、議長並びに議事録署名人は、次に署名する。

令和5年(2023年) 7月28日

議長

戸田 清志

議事録署名人

小林 哲生